

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 6 日 (2022.1.6)

【公開番号】特開 2021-145956 (P2021-145956A)

【公開日】令和 3 年 9 月 27 日 (2021.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2021-046

【出願番号】特願 2020-49634 (P2020-49634)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

A 6 3 F 5/04 6 0 3 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 25 日 (2021.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のリールと、

スタートレバーと、

複数のストップボタンと、を備え、

所定の賭け数に応じた役抽せんが実行可能であり、

前記所定の賭け数には、第 1 賭け数と、当該第 1 賭け数よりも多い第 2 賭け数と、が含まれ、

前記第 1 賭け数が設定された第 1 賭け数遊技が実行可能であり、

前記第 2 賭け数が設定された第 2 賭け数遊技が実行可能であり、

前記第 1 賭け数遊技での役抽せん第 1 特定役に当せんして、当該第 1 賭け数遊技で前記第 1 特定役に係る所定図柄組み合わせの停止表示がなかったときの次の遊技では、第 1 内部当せん状態での遊技が実行可能となり、

前記第 2 賭け数遊技での役抽せん第 2 特定役に当せんして、当該第 2 賭け数遊技で前記第 2 特定役に係る特定図柄組み合わせの停止表示がなかったときの次の遊技では、第 2 内部当せん状態での遊技が実行可能となり、

前記第 1 特定役に係る所定図柄組み合わせの停止表示があると第 1 ボーナス状態での遊技が実行可能となり、

前記第 2 特定役に係る特定図柄組み合わせの停止表示があると第 2 ボーナス状態での遊技が実行可能となり、

前記第 1 内部当せん状態、前記第 1 ボーナス状態、前記第 2 内部当せん状態、及び、前記第 2 ボーナス状態のいずれとも異なる所定の遊技状態での遊技が実行可能であり、

前記所定の遊技状態にて前記第 2 賭け数が設定されて前記第 2 賭け数遊技が実行された場合は、前記スタートレバーの操作後に賭け数に関する第 1 報知が実行可能であり、

前記第 1 内部当せん状態にて前記第 1 賭け数が設定されて前記第 1 賭け数遊技が実行された場合は、前記スタートレバーの操作後に賭け数に関する第 2 報知が実行可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するために本発明は、複数のリールと、

スタートレバーと、

複数のストップボタンと、を備え、

所定の賭け数に応じた役抽せんが実行可能であり、

前記所定の賭け数には、第1賭け数（2枚など）と、当該第1賭け数よりも多い第2賭け数（3枚など）と、が含まれ、

前記第1賭け数が設定された第1賭け数遊技（2枚賭け遊技など）が実行可能であり、

前記第2賭け数が設定された第2賭け数遊技（3枚賭け遊技など）が実行可能であり、

前記第1賭け数遊技での役抽せん第1特定役に当せんして、当該第1賭け数遊技で前記第1特定役に係る所定図柄組み合わせの停止表示がなかったときの次の遊技では、第1内部当せん状態での遊技（「2枚賭けBB内部中」の遊技など）が実行可能となり、

前記第2賭け数遊技での役抽せん第2特定役に当せんして、当該第2賭け数遊技で前記第2特定役に係る特定図柄組み合わせの停止表示がなかったときの次の遊技では、第2内部当せん状態での遊技（「3枚賭けBB内部中」の遊技など）が実行可能となり、

前記第1特定役に係る所定図柄組み合わせの停止表示があると第1ボーナス状態での遊技（「2枚賭けBB中」の遊技など）が実行可能となり、

前記第2特定役に係る特定図柄組み合わせの停止表示があると第2ボーナス状態での遊技（「3枚賭けBB中」の遊技など）が実行可能となり、

前記第1内部当せん状態、前記第1ボーナス状態、前記第2内部当せん状態、及び、前記第2ボーナス状態のいずれとも異なる所定の遊技状態（「非内部中」など）での遊技が実行可能であり、

前記所定の遊技状態にて前記第2賭け数が設定されて前記第2賭け数遊技が実行された場合は、前記スタートレバーの操作後に賭け数に関する第1報知が実行可能であり、

前記第1内部当せん状態にて前記第1賭け数が設定されて前記第1賭け数遊技が実行された場合は、前記スタートレバーの操作後に賭け数に関する第2報知が実行可能であることを特徴とする遊技機である。